

理学療法概論

[講義] 第1学年 前期 必修 1単位

《担当者名》○吉田 晋 ysdssm@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本講義は、理学療法とは何かを理解し、その成り立ちや発展の過程を学ぶことで、理学療法士を目指す学生にとっての最初の専門的導入科目として位置づけられる。理学療法の定義、歴史、適応領域、ならびに代表的な治療手技について概説し、理学療法の具体的内容を体系的に理解することを目的とする。これらを通して、将来理学療法士として業務を遂行するために必要な基礎的素養を養う。

【学修目標】

1 一般目標

医療機関や施設、地域における理学療法業務の概観を理解するために、理学療法の定義と歴史、社会全体における理学療法の役割について説明できる。

行動目標

1. 理学療法(士)とは何か、理学療法の具体的内容や業務範囲について説明できる。
2. 専門職としての理学療法士に関する臨床的思考過程、理学療法実践過程について説明できる。
3. 理学療法士の教育体系について説明できる。
4. 理学療法士に必要な管理及び運営の方法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	理学療法の定義と歴史	理学療法の歴史的背景を学ぶとともに、理学療法とは何かについて理解する。	吉田 晋
2	理学療法を取り巻く法令制度	理学療法に関連する各種法令、制度について理解する。	吉田 晋
3	理学療法の学問体系と研究	理学療法に関連する学問領域および研究の必要性とその手法について理解する。	吉田 晋
4	理学療法の対象と治療手段	理学療法の対象となる疾患、病態および各種治療手段について理解する。	吉田 晋
5	理学療法士の役割と職域	病院だけでなく福祉施設や行政、スポーツ関連など幅広い職域について理解する。	吉田 晋
6	地域における理学療法	地域包括ケアシステムおよび地域包括ケアにおける理学療法士の役割について理解する。	吉田 晋
7	理学療法士としての適性・資質	社会から求められる理学療法士としての資質、ふるまいについて理解する。	吉田 晋
8	理学療法部門の管理運営と組織活動	理学療法部門における管理運営および職能団体としての組織活動について理解する。	吉田 晋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

定期試験及び追再試実施後、問合せがあった場合には答案を開示する。

【教科書】

高橋哲也 他 編著 「理学療法概論 第7版補訂」 医歯薬出版 2024年

【備考】

受け身の学習ではなく、自ら学ぶことに主眼が置かれているので、積極的に授業へ参加すること。毎回、講義の初めに前回振り返りの時間を設けるのでしっかりと復習して講義に臨むこと。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと(80分)。
復習は、教科書やプリントを活用し学習を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP2)理学療法に必要な基礎的専門知識と技術を習得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

吉田 晋(理学療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、福祉施設等での実務経験を活かし、理学療法及び理学療法士の実践内容や実践分野について具体的な内容を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している